

『 国境を越えて人とつながるために大切なこと 』—世界に通じる力を育てる—第10号

今回メルマガに登場するのは横浜市の小学校6年生、花田さん。

『よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト』にて、セルラスの活動を通して考えた、未来の日本で大切にしたいことをスピーチしました。

題して『つながるために大切なこと』。

スピーチは学校代表に選ばれ区部査会で優秀賞を受賞しました。

花田さんが考えた、未来の日本で大切にしたいこととは？！

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第10号の目次です。

【 目次 】

〈1〉 『つながるために大切なこと』～よこはま子ども国際平和スピーチコンテストより～
神奈川県横浜市在住 花田さん(小6)

〈2〉 セルラスインフォメーション
～次回の合同ピアザ～

〈1〉 『つながるために大切なこと』～よこはま子ども国際平和スピーチコンテストより～
神奈川県横浜市在住 花田さん小6(家族構成:両親、妹小4、弟小2)

「国際都市」と呼ばれる私たちのまち横浜。
街を歩くと、英語以外にも様々な言葉が飛び交うまち横浜。

「グローバル化」という言葉を耳にしたことがあります。
ここ何十年かで世界の距離はちぢまっているそうです。
外国の人とつながっていくために必要なことを考えていくことは、とても大切なことだと思います。

私は「多言語広場セルラス」というNPO団体で多言語習得活動をしています。韓国語、スペイン語、ロシア語、中国語、英語を話しています。
セルラスでは、自分たちでフェスティバルの計画を立てたり、ロールプレイをして多言語のストーリーを楽しみ、そこでは様々な国の言葉が飛び交います。

外国人との交流では、相手の話す日本語が中々聞き取れないことがあります。
そんな中私は最近気づいたことがあります。
それは、「何が言いたいんだろう」と想像しながら聞くと、その人の伝えたいことは、声の調子、表情、場の状況などから結構分かるということです。
それからは、相手が言いたいことをこちらでも真剣に想像しようと心がけるようになりました。

コミュニケーションを取るためには、言葉はもちろんですが、それ以上に
「分かり合おうとする気持ちを持つこと」が大切なのではないのでしょうか。
私は、自分が伝えたいことは全身を使って表現しようと考えようになりました。
さらに日本とは違う文化に興味を持ち、その違いから学んだり、理解したりする姿勢
を心がけるようになりました。

私はこの夏、韓国にホームステイに行く予定です。
韓国では、一人で韓国人の家族の家に泊めてもらいます。実は私は韓国語がよく分かりません。

でも、伝えよう、分かろうという気持ちで心を通わせていきたいと思っています。
それから、相手の立場や気持ちを考えて思いやりの心を大切にします。

5年後の東京オリンピックでは、たくさんの外国人の人たちが横浜に訪れます。
その時に「人を思いやる気持ち」を発揮し、心を通わせたいです。
世界の人たちと日本の人たちの心がつながることで、
国境を越えて人との気持ちがひびき合う、そんな私たちの未来を目指していきたいです。

※追記: セルラスでは、今年韓国で猛威を奮うMERSの影響を考慮し、花田さんがこのスピーチコンテストに出場した後、

子供たちの安全を最優先に考え、残念ながら今夏の小学生韓国交流の中止を決定しました。
花田さんには、心を通わす大切さをこれからも持ち続け、いつか必ず韓国ホームステイを実現してもらいたいです。

《2》 セルラスインフォメーション ～次回の合同ピアザ～

セルラスでは時折、全国の地域ごとに合同ピアザを開催しています。

9月には夏のアメリカホームステイ交流、セルラス青少年サマーキャンプを終えた子ども達の報告会もあります！どうぞお楽しみに～♪

【夏の報告会・関東】

* 東京地域報告会 … 9/13(日)

* 神奈川地域報告会 … 9/27(日)

【夏の報告会・関西】

* 大阪地域報告会 … 9/6(日)

* 兵庫地域報告会 … 9/13(日)

お申込み、お問い合わせはこちらまで ⇒ **セルラス本部事務局 TEL:03-5333-8202**

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。